

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		盛岡駅前周辺交通改善計画策定事務事業			事業コード	2104
担当課等	所属名	建設部 交通政策課		担当係名		
	課長名	建設部 交通政策課	担当者名	建設部 交通政策課 工藤 修一	電話番号	2765

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	総合交通体系の確立	コード 1	関連予算費目名	一般会計 2款 1項 6目 交通施策推進事務(009-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input type="radio"/> 単年度繰返 <input checked="" type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (18年度 ~ 24年度)					
事務事業の概要	盛岡駅前周辺交通改善計画の策定					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>平成17年度末に不來方橋の開通し、その後の杜の大橋の開通や盛岡駅青山町線の国道46号線アンダーパスの開通により、盛岡駅前の交通が変化すること、また、盛岡駅前T時路における歩行者の平面移動やタクシープールからの開運橋方向への右折等、様々な課題について改善を行うため盛岡駅前周辺交通改善計画連絡会を組織して対策の検討を行っている。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>平成19年度において、盛岡駅前T字路南側を歩道とする案、バスタクシー専用とする案を示し盛岡駅前周辺交通改善計画連絡会において関係各団体より意見を聴取したが、合意を得る状況には至っていない。          なお、平成19年12月には、商工会議所より観光の視点から、タクシーが迂回して開運橋方向へ進行する現在の運行方法の改善を図ること等に対する要望書が提出されている。          また、平成20年度に盛岡駅前T時路の信号処理により、歩行者の横断を行う案について岩手県警察本部交通規制課と協議を行ったが、結論を導き出すまでには至らなかった。          地元商店街の主な意見は現状で特に不満がなく、交通処理を変更することに対して必要性を感じていない状況にある。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>今後は、関係各団体の意見を尊重しながら新たな案の提案を行うこととなるが、街路事業の進捗により、平成23年には盛岡駅南大橋線の対面交通になることや、明治橋大沢川原線の車線数増加等、周辺交通の状況変化が近々に行われる見通しである。          このことから、変化を予測することによる検討ではなく、近々の街路事業の効果を確認した上での検討や提案を行うことも方向性の1つと考えられる。</p>						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 寝工房じよ居前、ホテルルイズ前の自動車の交通量	単位	台/9時間
			B. 寝工房じよ居前、ホテルルイズ前の歩行者の通行量	単位	人/9時間
			C. 寝工房じよ居前、ホテルルイズ前の自転車の通行量	単位	台/9時間
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 盛岡駅前周辺交通改善計画連絡会及び関係機関協議	単位	回
			B. 盛岡駅前周辺の交通量調査等	単位	回
			C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 盛岡駅前周辺交通改善計画の策定 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
			B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	宴工房じよ居前, ホテルルイズ前の自動車の交通量	台/9時間	5,532	5,062	5,062	3,456	3,456	3,456	年度
対象 指標B	宴工房じよ居前, ホテルルイズ前の歩行者の通行量	人/9時間	6,818	7,549	7,549	7,231	7,231	7,231	年度
対象 指標C	宴工房じよ居前, ホテルルイズ前の自転車の通行量	台/9時間	1,014	1,047	1,047	1,347	1,347	1,347	年度
活動 指標A	盛岡駅前周辺交通改善計画連絡会及び関係機関協議	回	1	0	0	0	0	0	年度
活動 指標B	盛岡駅前周辺の交通量調査等	回	0	1	1	1	1	1	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	盛岡駅前周辺交通改善計画の策定	%	0	0	0	0	0	0	24年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	0	0	0	0	0	5,000	*****
財源 内訳	④国	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑤県	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑥地方債	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	5,000	*****
	⑧その他	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	0	0	0	0	0	5,000	*****
	延べ業務時間数	時間	50	50	20	20	20	320	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は, 事務費に含む)	千円	200	200	80	80	80	1,280	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	200	200	80	80	80	6,280	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 盛岡駅前周辺の交通体系を確立し適正な自動車交通の確保や公共交通機関、自転車の利便性向上と利用促進及び歩行環境の向上を図ることにより、都市活動を支えるより良い交通環境を構築することになり、上位基本計画の意図と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 社会基盤である都市活動をさせる交通環境を構築する事業であり、市民全体の利便性向上からも基本的に市が行うべき事業である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 障害者や高齢者等の交通弱者を含めた、盛岡駅周辺の交通(一般車両・バス・タクシー・歩行者・自転車)を対象としており、交通体系を確立するという観点から対象を絞り込むことは妥当ではない。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 交通体系を確立し適正な自動車交通の確保や公共交通機関、自転車の利便性向上と利用促進及び歩行環境の向上により、盛岡駅周辺の交通の円滑化を図ることを意図しており、現状が妥当である。 ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 盛岡駅周辺地区公共サイン計画と連携により、歩行環境の向上を図ることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 影響がある	理由: 盛岡市の重要な交通の結節点における課題であり、解決する必要性はあるものの、平成23年度中に盛岡駅南大橋線の対面交通になることや、明治橋大沢川原線の車線数増加等、周辺交通の状況変化が近々に行われることから、本事業を一時休止し、周辺交通への影響を把握しながら検討や提案を行うこととする。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 盛岡駅周辺地区公共サイン計画(盛岡市)、盛岡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想(盛岡市) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input checked="" type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない その内容: 盛岡駅周辺地区公共サイン計画及び、盛岡駅周辺地区交通バリアフリー基本構想と連携を図ることにより、効率的で効果的な計画を策定と歩行環境の向上が図られる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費が計上されていない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 関連調査結果や既存データを活用することにより、効果的な調査や検討を行い計画の策定を進める。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 社会基盤である都市活動を支える交通環境の構築であり、不特定多数の市民が対象になることから、公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 社会基盤である都市活動を支える交通環境の構築であり、不特定多数の市民が対象になることから、公平である。

